

平成29年度長野県学校保健統計調査の結果について

保健厚生課

1 調査概要

(1) 目的

児童生徒の発育状態及び健康状態を毎年調査し、学校保健の基礎資料とする。

(2) 調査対象

国・公立及び私立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校(定時・通信制は除く)の園児及び児童生徒で、平成29年4月から6月に定期健康診断を実施した者

学校種	学校数	測定人数
幼稚園	102 園	3,688 人
小学校	368 校	109,515
中学校	195	58,246
高等学校	96	55,400
計	761	226,849

※中等教育学校の前期課程は中学校に、後期課程は高等学校に含む。

2 発育状態

(1) 身長・体重の平均値の状況

区 分			長 野 県						全 国		
性別	校種別	年齢	身 長			体 重			身長	体重	
			29年度 A	28年度 B	前年度差 A-B	29年度 A	28年度 B	前年度差 A-B			
			cm	cm	cm	kg	kg	kg	29年度		
			cm	cm	cm	kg	kg	kg	cm	kg	
男 子	幼稚園	5	110.9	110.9	0.0	18.9	18.9	0.0	110.3	18.9	
		6	116.4	116.3	0.1	21.2	21.2	0.0	116.5	21.4	
	小学校	7	122.2	122.1	0.1	23.9	23.7	0.2	122.5	24.1	
		8	127.8	127.8	0.0	26.7	26.9	△ 0.2	128.2	27.2	
		9	133.2	133.2	0.0	30.3	30.1	0.2	133.5	30.5	
		10	138.6	138.5	0.1	33.8	33.7	0.1	139.0	34.2	
		11	144.7	144.7	0.0	38.0	37.8	0.2	145.0	38.2	
	中学校	12	152.3	152.0	0.3	43.6	43.3	0.3	152.8	44.0	
		13	159.4	159.5	△ 0.1	48.5	48.8	△ 0.3	160.0	49.0	
		14	165.0	164.8	0.2	53.9	53.7	0.2	165.3	53.9	
	高等学校	15	167.9	167.9	0.0	58.4	58.4	0.0	168.2	58.9	
		16	169.5	169.4	0.1	60.2	60.1	0.1	169.9	60.6	
		17	170.3	170.4	△ 0.1	62.1	62.1	0.0	170.6	62.6	
	女 子	幼稚園	5	110.1	109.7	0.4	18.4	18.5	△ 0.1	109.3	18.5
			6	115.5	115.5	0.0	20.7	20.7	0.0	115.7	21.0
		小学校	7	121.3	121.3	0.0	23.2	23.2	0.0	121.5	23.5
			8	127.0	126.9	0.1	26.1	26.0	0.1	127.3	26.4
9			132.9	133.0	△ 0.1	29.3	29.4	△ 0.1	133.4	29.9	
10			139.6	139.5	0.1	33.5	33.4	0.1	140.1	34.0	
11			146.2	146.2	0.0	38.3	38.2	0.1	146.7	39.0	
中学校		12	151.4	151.4	0.0	43.4	43.5	△ 0.1	151.8	43.6	
		13	154.6	154.6	0.0	47.1	46.9	0.2	154.9	47.2	
		14	156.2	156.2	0.0	49.8	49.9	△ 0.1	156.5	50.0	
高等学校		15	156.8	156.7	0.1	51.1	51.0	0.1	157.1	51.6	
		16	157.2	157.2	0.0	52.1	52.2	△ 0.1	157.6	52.6	
		17	157.6	157.6	0.0	52.5	52.5	0.0	157.8	53.0	

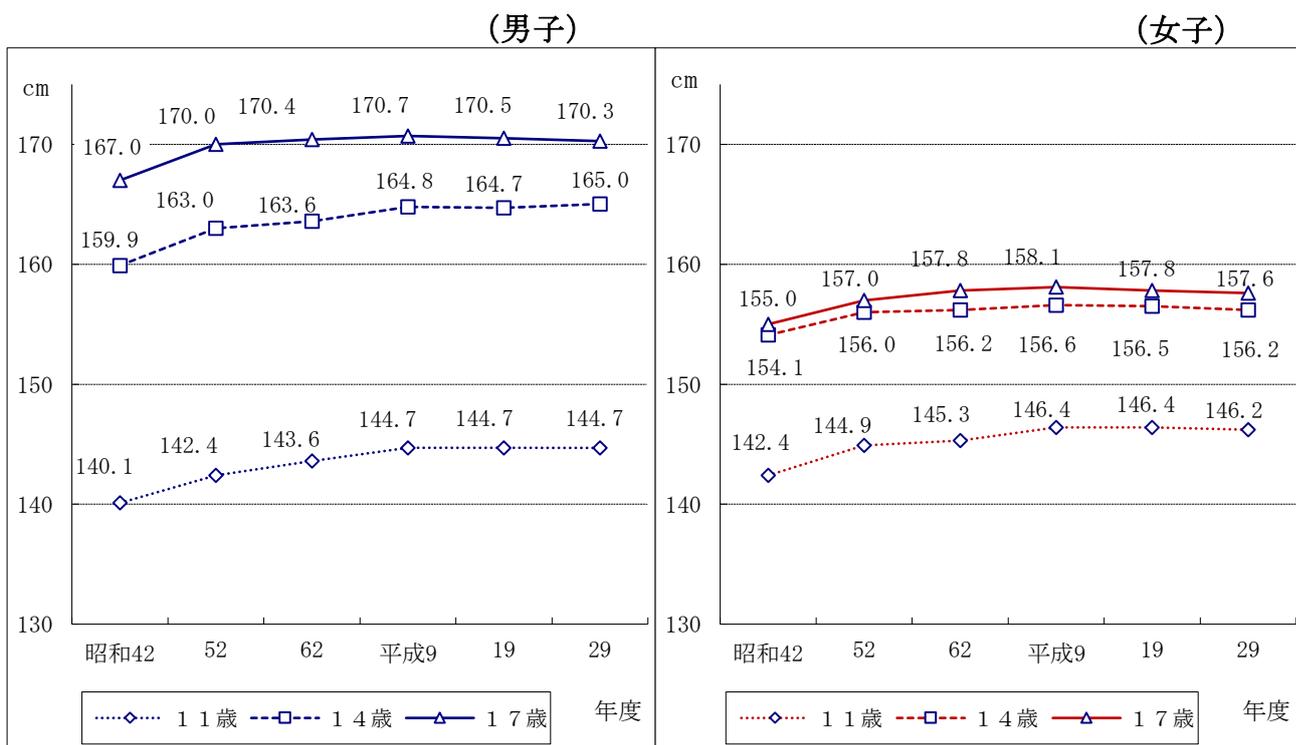
(注) 1: 全国の数値は、文部科学省の学校保健統計調査(抽出調査)の速報値である。

2: 年齢は各年4月1日現在の満年齢である。(以下の各表において同じ。)

(2) 平均値の推移

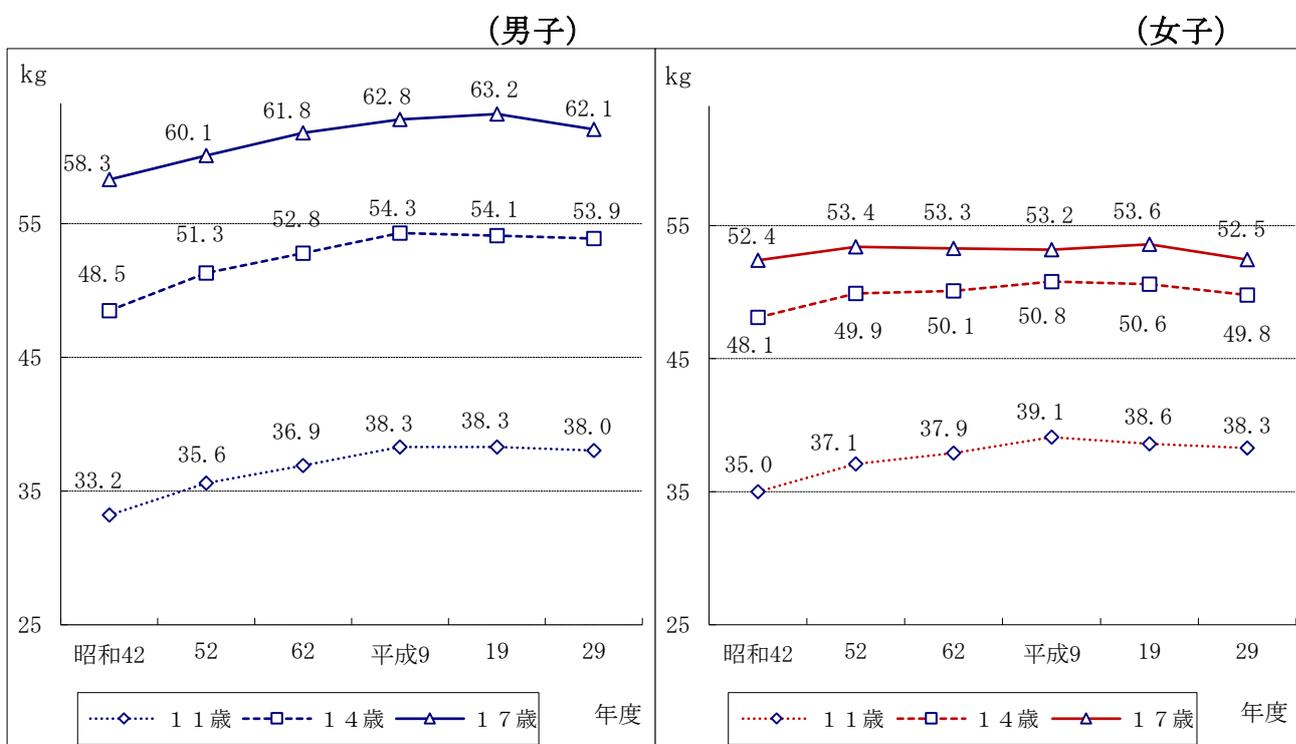
身長

男女の各年齢とも、最近20年間は横ばいか、やや減少傾向である。



体重

男女の各年齢とも、最近20年間は減少する傾向にある。

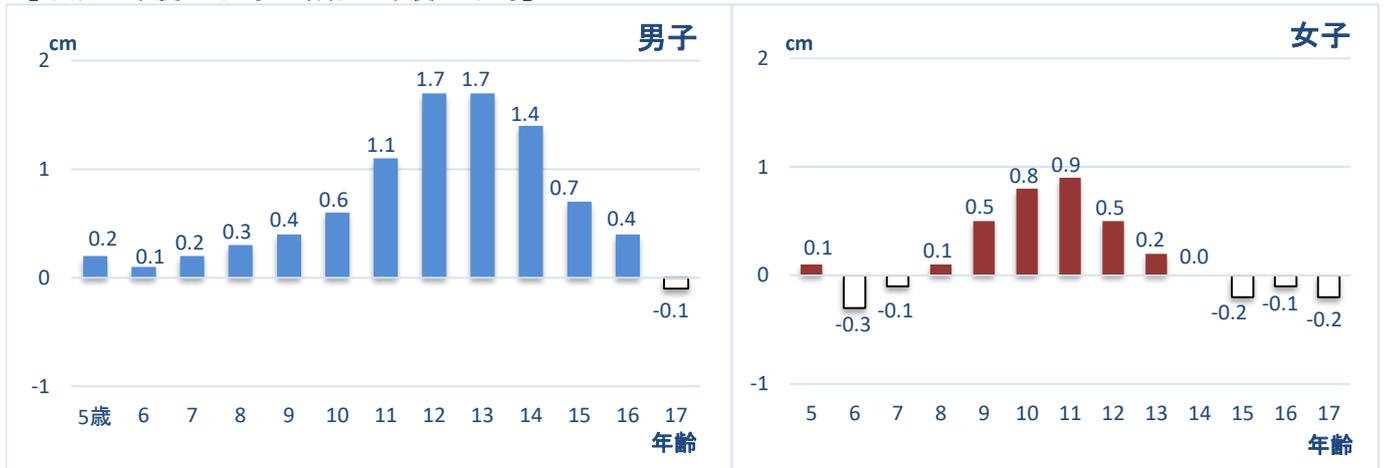


(3) 昭和62年度（親世代：30年前）との年齢別比較

身長

男子は17歳を除くすべての年齢で、女子は5歳及び8歳から13歳までが親世代を上回っていた。最も差がある年齢は、男子が12歳及び13歳でともに1.7cm、女子は11歳で0.9cmであった。

【平成29年度の平均－昭和62年度の平均】



身長【H29年度】－【S62年度（親世代）】

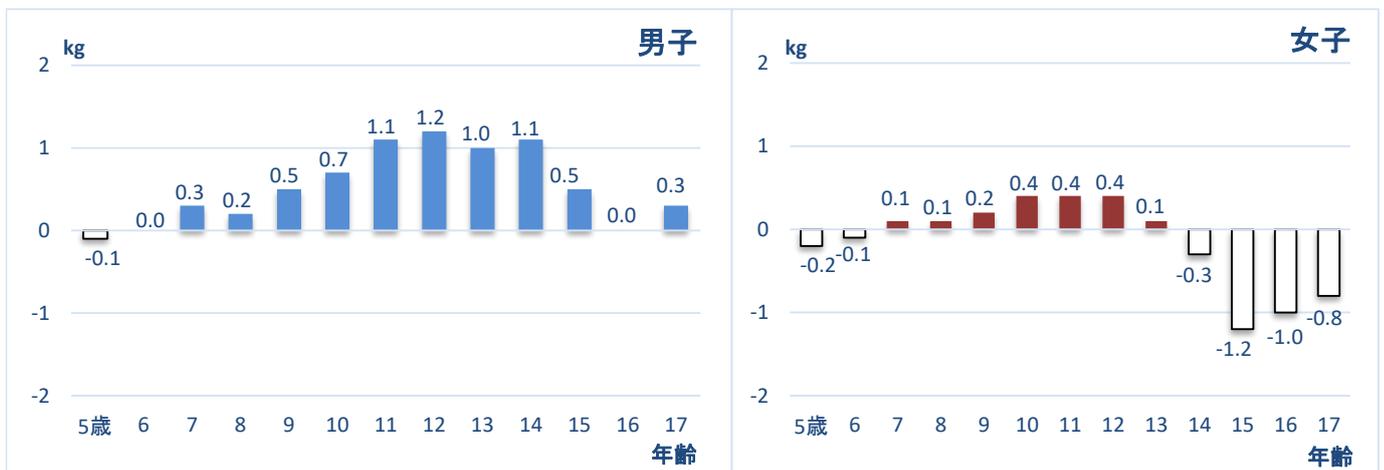
性別・年齢	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
男子	H29年度	110.9	116.4	122.2	127.8	133.2	138.6	144.7	152.3	159.4	165.0	167.9	169.5	170.3
	S62年度	110.7	116.3	122.0	127.5	132.8	138.0	143.6	150.6	157.7	163.6	167.2	169.1	170.4
	H29-S62	0.2	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	1.1	1.7	1.7	1.4	0.7	0.4	△ 0.1
女子	H29年度	110.1	115.5	121.3	127.0	132.9	139.6	146.2	151.4	154.6	156.2	156.8	157.2	157.6
	S62年度	110.0	115.8	121.4	126.9	132.4	138.8	145.3	150.9	154.4	156.2	157.0	157.3	157.8
	H29-S62	0.1	△ 0.3	△ 0.1	0.1	0.5	0.8	0.9	0.5	0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2

体重

男子は5歳を除くすべての年齢で親世代と同じか上回っているが、女子は5歳、6歳、14歳から17歳までの年齢で親世代を下回った。

最も差がある年齢は、男子は12歳で1.2kg、女子は15歳でマイナス1.2kgであった。

【平成29年度の平均－昭和62年度の平均】



体重【H29年度】－【S62年度（親世代）】

性別・年齢	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
男子	H29年度	18.9	21.2	23.9	26.7	30.3	33.8	38.0	43.6	48.5	53.9	58.4	60.2	62.1
	S62年度	19.0	21.2	23.6	26.5	29.8	33.1	36.9	42.4	47.5	52.8	57.9	60.2	61.8
	H29-S62	△ 0.1	0.0	0.3	0.2	0.5	0.7	1.1	1.2	1.0	1.1	0.5	0.0	0.3
女子	H29年度	18.4	20.7	23.2	26.1	29.3	33.5	38.3	43.4	47.1	49.8	51.1	52.1	52.5
	S62年度	18.6	20.8	23.1	26.0	29.1	33.1	37.9	43.0	47.0	50.1	52.3	53.1	53.3
	H29-S62	△ 0.2	△ 0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.1	△ 0.3	△ 1.2	△ 1.0	△ 0.8

3 健康状態

(1) 主な疾病・異常の被患率

主な疾病、異常等についての推移は、表のとおりである。

・被患率第1位は、幼稚園及び小学校が「むし歯(う歯)」、中学校・高等学校では「裸眼視力1.0未満の者」が第1位となった。

・「むし歯(う歯)」は各学校とも減少しており、その他の疾病・異常は概ね横ばいの傾向にある。

(単位：%)

区分		むし歯(う歯)	アレルギー性皮膚疾患	ぜん息	裸眼視力1.0未満の者	心電図異常	蛋白検出の者	せき柱・胸郭・四肢の状態	耳疾患者	鼻・副鼻腔疾患	アレルギー性鼻疾患	口腔咽喉頭疾患・異常
幼稚園	平成 19	46.6	2.7	1.8	30.4	…	0.2	(0.1)	1.0	3.1	2.7	4.1
	25	35.6	2.7	1.9	27.4	…	0.3	(0.1)	1.0	2.5	1.1	0.7
	26	32.4	1.5	0.9	20.5	…	0.2	(0.1)	1.0	2.0	0.3	1.0
	27	28.2	1.0	2.1	28.4	…	0.0	(0.2)	1.0	2.0	2.6	1.1
	28	27.2	1.2	1.8	21.3	…	0.7	1.1	1.3	1.1	2.4	0.9
	29	27.0	1.1	1.3	21.4	…	0.2	0.2	1.2	1.1	2.5	0.7
	平成 29 年度 全国	35.5	2.1	1.8	24.5	…	1.0	0.2	2.3	2.9	1.3	
小学校	平成 19	65.5	4.4	4.5	27.3	2.5	0.3	(0.3)	4.9	6.4	5.2	0.7
	25	53.1	4.5	5.8	29.0	1.9	0.3	(0.4)	5.3	5.4	4.8	0.7
	26	51.4	4.3	5.6	29.2	3.2	0.4	(0.5)	5.5	5.3	5.1	0.7
	27	49.7	4.3	5.9	30.2	2.5	0.4	(0.6)	5.8	4.9	4.3	0.7
	28	47.0	3.9	5.7	31.0	3.1	0.3	1.6	5.5	4.6	4.6	0.6
	29	45.3	3.6	5.6	32.2	2.6	0.3	2.8	5.8	4.9	4.7	0.9
	平成 29 年度 全国	47.1	3.3	3.9	32.5	2.4	0.9	1.2	6.2	12.8	1.3	
中学校	平成 19	52.9	3.0	4.3	49.4	4.2	0.8	(0.6)	3.0	4.4	5.6	0.5
	25	39.5	2.2	4.9	53.6	2.5	0.9	(0.9)	3.6	4.0	4.8	0.4
	26	38.4	2.2	4.5	53.9	2.7	1.4	(0.8)	3.7	3.8	4.9	0.3
	27	36.4	2.2	4.4	54.6	3.1	1.1	(0.8)	3.9	3.6	4.8	0.4
	28	33.7	2.4	4.4	56.3	3.4	1.0	4.0	4.1	3.2	5.0	0.4
	29	33.3	2.2	3.8	57.5	3.2	1.1	3.0	3.7	3.3	5.0	0.5
	平成 29 年度 全国	37.3	2.7	2.7	56.3	3.4	3.2	2.4	4.5	11.3	0.6	
高等学校	平成 19	64.9	1.8	1.2	62.9	4.8	0.8	(0.6)	1.2	2.3	6.2	0.3
	25	51.9	1.5	1.5	65.7	3.5	0.4	(0.7)	1.1	1.9	7.7	0.3
	26	49.3	1.4	1.4	66.2	3.1	0.5	(0.7)	1.2	1.6	7.7	0.2
	27	46.4	1.7	1.5	67.7	3.5	0.4	(0.6)	1.3	1.5	6.9	0.3
	28	43.4	1.4	1.4	68.4	3.4	0.4	2.2	1.6	1.9	8.2	0.2
	29	42.5	1.3	1.4	69.2	3.5	0.4	1.8	1.6	1.7	8.1	0.1
	平成 29 年度 全国	47.3	2.3	1.9	62.3	3.3	3.5	1.5	2.6	8.6	0.5	

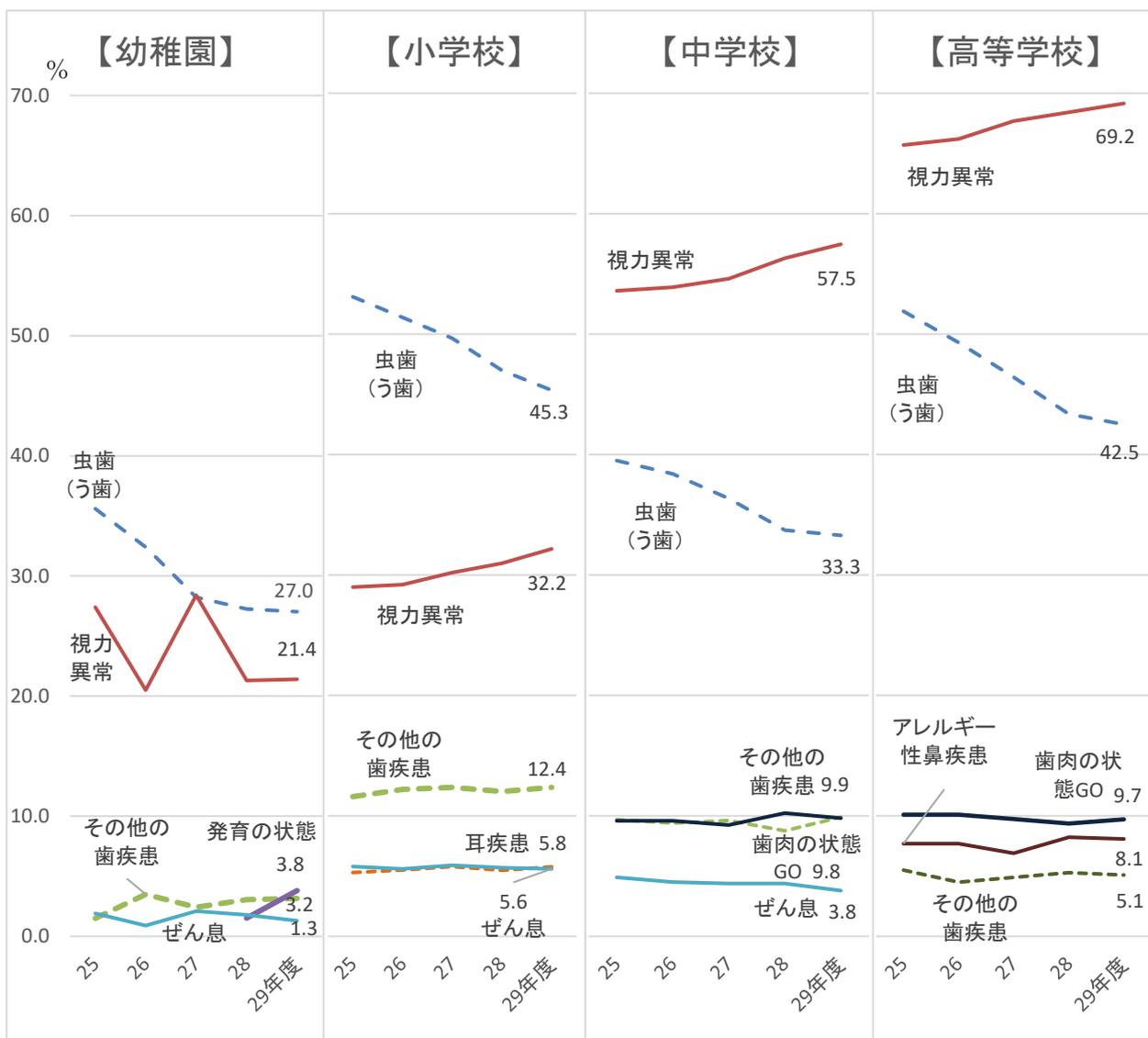
(注) 1 「裸眼視力1.0未満の者」には、コンタクトレンズ等を使用し、裸眼視力検査未実施の者を含む。

なお次ページでは「視力異常」と表記している。

2 心電図は、小1、中1、高1で実施している。

3 「せき柱・胸郭・四肢の状態」については、平成27年度までは「せき柱・胸郭」のみ実施している。

(2) 疾病・異常の上位5位の状況



(3) むし歯(う歯)の処置状況

(単位：%)

区分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		
	29年度	19年度	29年度	19年度	29年度	19年度	29年度	19年度	
う歯のある者	27.0	46.6	45.3	65.5	33.3	52.9	42.5	64.9	
内訳	処置完了者	11.9	21.8	25.8	39.6	21.0	35.4	26.1	41.6
	未処置の者	15.1	24.8	19.5	25.9	12.3	17.4	16.4	23.4

(4) 視力異常の推移(17歳)

(単位：%)

区分	昭和62年度	平成9年度	19年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
視力異常	51.6	59.9	64.6	67.3	66.7	70.3	68.7	69.6	
内訳	男子	47.9	57.4	62.2	63.7	63.8	67.0	64.5	65.5
	女子	55.3	62.3	67.0	70.9	69.6	73.6	73.0	73.7

注：昭和62年度は裸眼視力1.0未満の者

4 肥満傾向児及び痩身傾向児の状況

(1) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、前年度と比較すると、男子では5歳、6歳、8歳、13歳及び14歳を除いた各年齢で、女子では5歳、6歳、9歳、12歳、14歳及び16歳を除いた各年齢で増加している。

痩身傾向児（やせ）の出現率は、前年度と比較すると、男子では9歳、15歳及び17歳を除く各年齢で、女子では8歳、10歳、11歳、13歳、15歳及び17歳を除いた各年齢で減少している。

(単位：%)

区 分	肥 満 傾 向 児								
	長 野 県						全国 (H29年度)		
	男 子			女 子			男 子	女 子	
	29年度 A	28年度 B	前年度差 A-B	29年度 A	28年度 B	前年度差 A-B			
幼稚園	5歳	1.57	1.88	△ 0.31	1.73	1.81	△ 0.08	2.78	2.67
小学校	6	3.94	4.05	△ 0.11	3.94	3.96	△ 0.02	4.39	4.42
	7	5.76	4.70	1.05	4.67	4.44	0.23	5.65	5.24
	8	6.51	7.51	△ 1.00	5.78	5.41	0.38	7.24	6.55
	9	9.55	8.84	0.71	6.15	7.04	△ 0.89	9.52	7.70
	10	10.04	9.77	0.27	7.66	7.46	0.21	9.99	7.74
中学校	11	9.81	9.68	0.13	7.95	7.32	0.63	9.69	8.72
	12	9.49	9.17	0.32	7.45	8.34	△ 0.88	9.89	8.01
	13	7.83	7.95	△ 0.12	7.96	7.24	0.72	8.69	7.45
高等学校	14	7.68	8.21	△ 0.53	7.48	7.96	△ 0.48	8.04	7.01
	15	10.35	10.04	0.31	7.28	7.14	0.14	11.57	7.96
	16	8.60	8.50	0.10	6.84	7.05	△ 0.21	9.93	7.38
	17	9.27	9.03	0.25	7.92	7.10	0.82	10.71	7.96

(単位：%)

区 分	瘦 身 傾 向 児 (やせ)								
	長 野 県						全国 (H29年度)		
	男 子			女 子			男 子	女 子	
	29年度 A	28年度 B	前年度差 A-B	29年度 A	28年度 B	前年度差 A-B			
幼稚園	5歳	0.22	0.61	△ 0.39	0.27	0.38	△ 0.11	0.33	0.29
小学校	6	0.30	0.47	△ 0.17	0.46	0.49	△ 0.03	0.47	0.64
	7	0.40	0.45	△ 0.05	0.51	0.69	△ 0.18	0.53	0.61
	8	0.75	0.95	△ 0.20	1.05	1.02	0.03	0.95	1.07
	9	1.59	1.57	0.02	1.83	2.35	△ 0.52	1.57	1.86
	10	2.40	2.66	△ 0.26	2.96	2.80	0.17	2.66	2.43
中学校	11	3.12	3.17	△ 0.05	3.50	3.06	0.44	3.27	2.52
	12	2.56	2.84	△ 0.28	4.17	4.28	△ 0.11	2.96	4.36
	13	2.11	2.19	△ 0.08	3.52	3.50	0.02	2.25	3.69
高等学校	14	2.42	2.63	△ 0.21	2.54	2.82	△ 0.28	2.05	2.74
	15	3.15	2.89	0.26	2.94	2.48	0.46	3.00	2.24
	16	2.40	2.41	△ 0.01	2.10	2.27	△ 0.17	2.49	1.87
	17	2.22	2.00	0.22	1.98	1.71	0.26	2.08	1.69

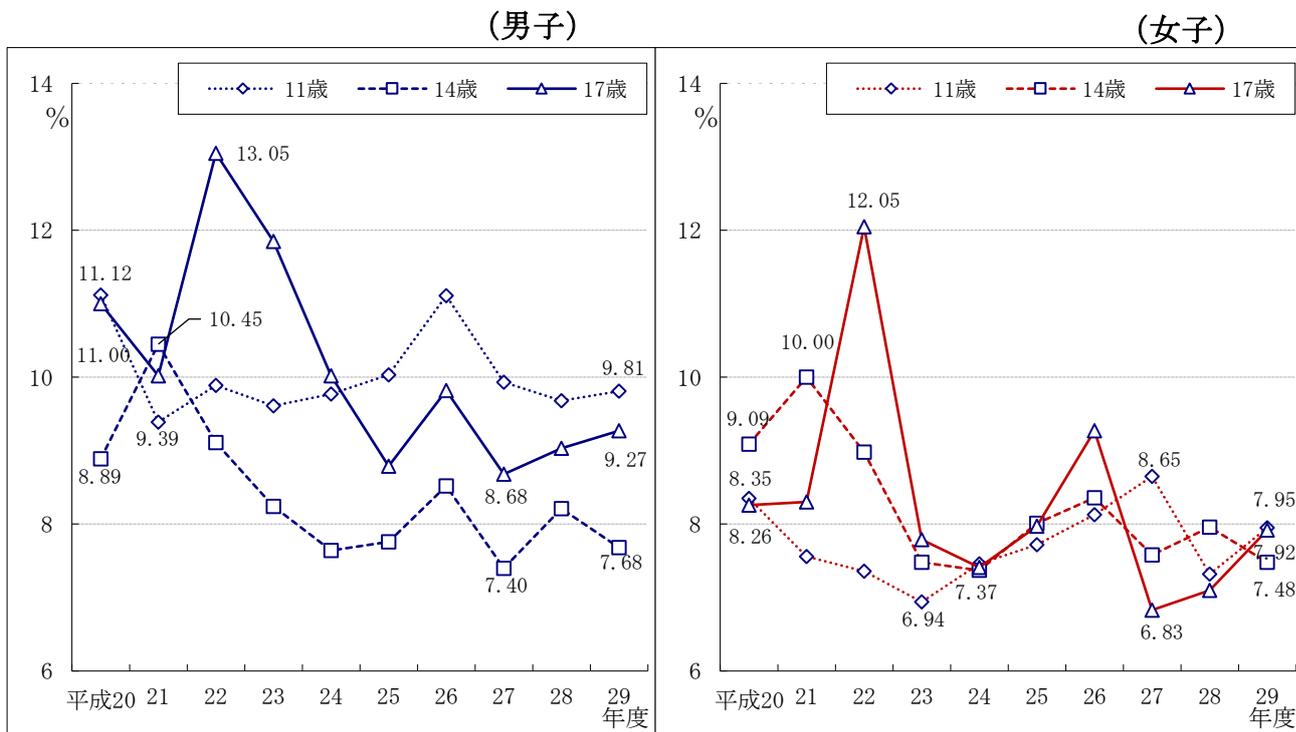
注：「肥満傾向児」とは肥満度が20%以上の者、「痩身傾向児」とは肥満度がマイナス20%以下の者である。

肥満度 = (実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg)) / 身長別標準体重(kg) × 100(%)

(2) 出現率の推移

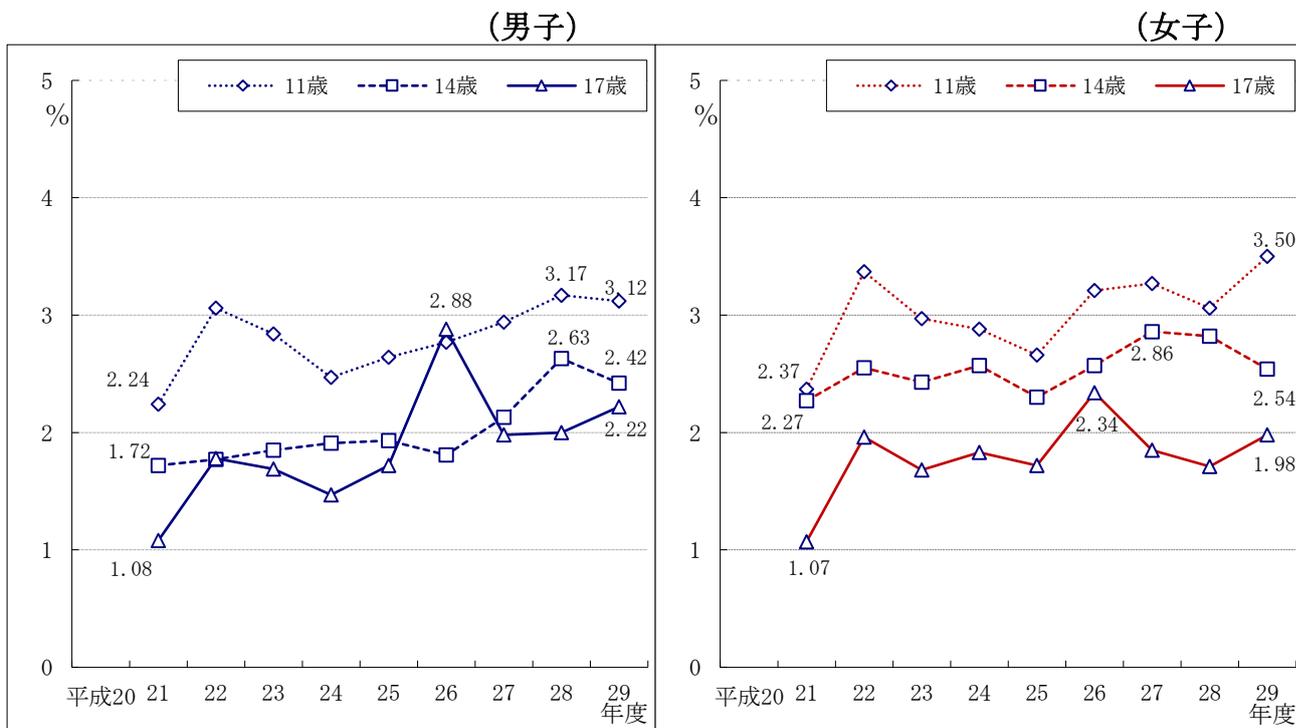
肥満

直近の5年間でみると、男女とも、各年齢で概ね横ばいとなっている。



痩身

男女とも、各年齢で少しずつ増加する傾向がみられる。



注：痩身傾向児の出現率は、平成21年度から調査している。

5 健康課題

長野県における子どもたちの大きな健康課題は、視力低下とむし歯にある。

(1) 視力低下は、生活環境や生活習慣の変化によるところが大きいと考えられ、引き続き、保護者や学校医と連携し、改善に向け保健指導を推進する必要がある。

(2) 「むし歯」は減少傾向にあり、全国と比較しても良好であるが、不正咬合など「その他歯疾患」や軽度の歯肉炎にあたる「歯肉の状態（GO）」などを加えると、まだまだ大きな割合を占める状況にある。

また、「未処置者」への指導も必要であり、歯科保健の更なる向上を図る必要がある。

各学校は、医療関係者や地域保健機関と連携し、児童生徒の個別の健康課題に対処するとともに、保健委員会等において健診データを共有し、それぞれの健康課題を分析して疾病の未然防止に取り組んでいくことが求められている。